2023年度

科目名称	医療的ケアⅠ
授業コード	BL359
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	柊﨑　京子 (医療科学部), 黒田　良孝 (医療科学部)
※記入不要　ナンバリングコード	
授業の概要	医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できる、医療的ケアの実施の基礎を身につけることを目的とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	担当教員のうち柊崎は、厚生労働省が定める「専任教員課程修了」並びに「医療的ケア教員講習会修了」者である。看護師として従事してきた経験を活かし、医療的ケアの実施に関する制度の概要及び医療的ケアと関連づけた「個人の尊厳と自立」「医療的の倫理上の留意点」「医療的ケアを実施するための感染予防」「安全管理体制」等について講義する。 外部講師（黒田良孝氏）は医療的ケアが必要な当事者の方であり、日常生活や喀痰吸引に関する話を聞き、介護福祉士が行う医療的ケアについて考える機会とする。
到達目標	本科目は、ディプロマ・ポリシー「社会福祉に関する基本的な知識や技術を修得している」、カリキュラム・ポリシー「社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士として必要な知識や技術を得る科目を配置する」に対応し、下記を到達目標とする。 ① 医療的ケアの意義・目的、介護福祉士の業である喀痰吸引等の範囲を理解できる。 ② 医療における倫理、保健医療制度とチーム医療について理解できる。 ③ 健康状態の把握や、清潔保持、感染予防について理解できる。
計画・内容	1. 医療的ケア実施の基礎① 日常生活における介護と医療の必要性 （柊﨑） 2. 医療的ケア実施の基礎② 医療的ケアニーズの増加、歴史的変遷 、介護福祉士の定義に追加された「喀痰吸引等」（柊﨑） 3. 医療的ケア実施の基礎③ 吸引等の安全な実施（医行為／原則として医行為でない行為／現場で喀痰吸引等を実施できるまでの流れ）（柊﨑） 4. 医療的ケア実施の基礎④ 医療における倫理 （柊﨑） 5. 医療的ケア実施の基礎④ 医療における倫理の事例検討 （柊﨑） 6. 保健医療制度とチーム医療（柊﨑） 7. 医療的ケアが必要な当事者から学ぶ① 医療的ケア児演 （柊﨑） 8. 医療的ケアが必要な当事者から学ぶ② 講演 （黒田良孝・柊﨑） 9. 清潔保持と感染予防① 清潔・不潔／滅菌・消毒／感染予防（柊﨑） 10. 清潔保持と感染予防② 医療廃棄物の処理／スタンダードプリコーション（柊﨑） 11. 小テスト① 12. 健康状態の把握① 健康状態の観察、バイタルサインの測定・記録：体温（柊﨑） 13. 健康状態の把握② バイタルサインの測定・記録：呼吸、脈拍、血圧（柊﨑） 14. 小テスト② 健康状態の把握③ バイタルサインの測定 ・演習（柊﨑） 15. 健康状態の把握④ バイタルサインの測定 ・演習、原則として医行為でない行為（柊﨑）
授業の進め方	①教科書と資料を使用した授業形式で、映像資料など適宜活用する。 ②講義と演習の組み合わせで行う。 ③学びの整理シートに記入し、提出する。
能動的な学びの実施	体験学習、演習、グループディスカッションを行う。
授業時間外の学修	１回につき、2時間30分程度の予習・復習の時間をとること（計60時間程度） ・予習として、授業予定範囲のテキストを読む、調べる。 ・復習として、授業内容の振り返りをする、授業時に指示したものに取り組む。

2023年度

教科書・参考書	柊崎京子・荏原順子編著『介護福祉士養成課程・介護職等のための医療的ケ』建帛社 ISBN: 978-4-7679-3376-4
成績評価方法と基準	・学びの整理シート（5%×8＝40%） ・小テスト（25%×2＝50%） ・参加態度（10%）
課題等に対するフィードバック	・小テストは、授業中に解説し返却する。
オフィスアワー	CampasSquareを参照。
留意事項	・介護福祉士国家試験受験資格を得るための指定科目である。 ・本科目は、介護福祉士養成課程の履修者以外も履修できる。 ・本科目を履修しなければ、医療的ケアII・III・IVを履修できない。
非対面授業となった場合の「①授業の進め方」および「②成績評価方法と基準」	①授業の進め方 ・zoomによるオンライン、学内での対面授業による演習、課題学習等の組み合わせで実施する。 ・zoomでは、全体・グループ・個別の各学習形態をとり、zoomのブレイクアウトルームを活用し、演習や発表などの方法によりアクティブラーニングを行う。 ②成績評価方法は変更しない。